

中高層マンション 防災ガイド



狛江市安心安全課

狛江市の被害想定

東京都が平成24年4月に発表した被害想定を基に、市では防災対策に取り組んでいます。

【多摩直下地震の被害想定】

規模: M7.3

震度: 6弱

時期・時刻: 冬の18時

風速: 15^{m/s}

エレベータの閉じ込めの他、中高層マンション特有の長周期地震動が予想されます。

| ライフライン | 被害 |
|-------------|-------|
| 電力(停電率) | 4.1% |
| 通信(固定電話不通率) | 2.7% |
| ガス(供給停止率) | 0% |
| 上下水道(断水率) | 19.3% |
| 下水道(管きよ被害率) | 15.7% |
| エレベーター停止台数 | 12台 |

※長周期地震動: 通常地震動とは異なり、揺れの周期が長い波長を含む地震動のこと。概ね10階建て以上の高層ビル等で発生し、家具転倒等の被害が大きくなる危険性があります。

地震発生!

初動対応

◆まずは身の安全の確保!

揺れを感じたり、緊急地震速報が出た時は、まず身の安全を最優先に行動しましょう。テーブルの下や上から物が落ちてこない空間で揺れがおさまるまで待ちましょう。

ガスは震度5強相当の揺れを感じた時には、自動停止します。

ヤケドの危険性があるため、地震が来たら火の元からは、すぐに離れましょう。

◆もしエレベーターが止まったら…

最寄りの階からボタンを全て押し、停止した階で外に出ましょう。万が一、閉じ込められてしまった場合は

- ・「非常電話」ボタンを押し続ける。
- ・エレベーター内に提示してある緊急連絡先に携帯電話で連絡をする。
- ・天井等から無理に脱出するのは危険なので、落ち着いて救助を待つ。

備える！

事前対策をしっかりと！

家族で備える

◆家具の転倒・落下・移動防止

大地震による、家具の転倒や落下は、ケガの原因になるとともに、避難や救護の障害となります。

被害を最大限減らすために、事前に予防対策をとりましょう。

◆備蓄の準備

中高層マンションの場合、倒壊の危険性が低いため避難所ではなく、発災後自宅で生活することが想定されます。

家族の人数×1週間分、少なくとも3日分を目安に備えましょう。

みんなで備える

◆管理組合で対策をとりましょう

非常時を乗り切るには日頃より各自が災害に備えておき、自身や家族を守り、また住民同士でお互い助け合うことが必要です。いざというときに行動がとれるよう、しくみづくりをしておきましょう。

- ・マンションごとの防災訓練の実施
- ・備蓄倉庫の管理
- ・要配慮者の把握、安否確認方法の検討

◆マンションの自主防災組織

地域の防災力を強化するために、マンションごとに自主防災組織を設立しましょう。市で実施する水防訓練や防災訓練に参加したり、応急救護訓練や講演会を実施するなど、日頃からマンション全体で防災意識を高めましょう。

※訓練や講演会等についてご不明な点は安心安全課にご相談ください。

◆分譲マンション耐震診断費用の助成制度

昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた分譲マンションの耐震診断を行う場合、一定の基準に基づき、費用の一部を助成します。助成金額は、耐震診断にかかる費用の2分の1です。（限度額100万円）

耐震診断機関：東京都マンション耐震化促進協議会構成員のうち、市で推薦する団体

*必ず事前にまちづくり推進課までご連絡ください。

問合せ先：都市建設部まちづくり推進課 03-3430-1111

◆【事例紹介】パークハイム防災訓練～青いリボン作戦～

パークハイム狛江の防災訓練では住民の安否確認のために、マンション独自で配布した青いリボンをバルコニー等に掲げる「青いリボン作戦」を平成26年から実施しています。

日頃より、マンション全体で防災に対する意識を高めることが重要です。



- ・災害発生時は誰もが混乱してしまいます。
- ・いざというときに、落ち着いて行動がとれるよう、地域の防災訓練や自主防災組織の活動に参加しましょう。

◆狛江市ホームページでも防災情報をご覧いただけます

- ・狛江市ホームページ <http://www.city.komae.tokyo.jp>
 - ・こまえ安心安全情報メール <http://anzen-komae.jp/touroku/>
 - ・安心安全情報ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/anshinkomae>
- 地域の防災についてのご質問は狛江市安心安全課へ（03-3430-1111）